

会 議 録			
平成30年度 第18採択地区教科用図書 第2回選定委員会			
招集年月日	平成30年7月13日(金)	開会場所	行田市教育委員会 2A会議室
開閉の時刻 及び宣言者	開会 7月13日(金) 14時00分 閉会 7月13日(金) 16時00分	司会	学校教育課長
会長	行田市教育研究会長	副会長	小学校校長会長
席次番号	出席の委員	摘 要	
1	行田市教育研究会長		
2	小学校校長会長		
3	中学校校長会長		
4	学校教育課長		
議 事 参 与 者			書 記
学校教育課指導主事兼主幹			書記 学校教育課指導主事兼主幹

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	開会
会長	あいさつ
司会	資料確認
司会	協議に入らせていただく。協議の進行については、第18採択地区教科用図書選定委員会規約第9条2項により、第18採択地区教科用図書選定委員会会長様をお願いする。よろしくお願いいたします。
会長	はじめに、第18採択地区教科用図書選定委員会規約第10条により、この会は公開とするが、よろしいか。  【全委員承認】
会長	事務局。傍聴される方は、来られているか。
事務局	傍聴する方がいたら、傍聴について説明し、案内をお願いする。  (事務局より傍聴人に説明する。) ※傍聴人規則の説明
会長	(傍聴人着席)
事務局	事務局より研究結果報告について説明をお願いする。
事務局	本日の研究結果報告ですが、教科ごとに全部の教科書について、調査員が作成した資料「第18・19採択地区教科用図書研究結果報告書」に基づいて報告する。報告後、質疑応答の時間となるが、報告書と調査員会での話し合いの内容に基づき、お答えさせていただきます。報告は、資料「平成31年度使用小学校教科用図書一覧表」及び「平成31年度使用中学校「特別の教科 道徳」教科用図書一覧表」の順で行う。また、各教科書の分量等の報告については、埼玉県教育委員会の調査資料をご参照願う。質問はあるか。
会長	それでは、まず始めに平成31年度使用小学校教科用図書の国語から報告を願います。
事務局	「新編 新しい国語」（東京書籍） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元末の「言葉」「漢字」の欄や「漢字の練習」「言葉の力」を設け、漢字の習得を図り、語彙を蓄える工夫がある。また、「言葉の力」では下段に前学年の学習内容を記載し、既習事項を活かせる。</li> <li>・ 図書リストは、読書単元の後や読む教材の後に、表紙写真と共に紹介している。</li> <li>・ ユニバーサルデザインを用いて、大切な内容を見やすく表記している。</li> <li>・ 一教材一領域で学習のねらいを絞り、身につけたい力を教材中に示し、巻末「言葉の力のまとめ」で領域ごとにまとめている。</li> </ul> 「みんなと学ぶ 小学校国語」（学校図書） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元末や巻末に領域ごとのポイント「国語のカギ」を示している。「言葉のきまり」や「漢字の部屋」等を配置し、語彙が増す</li> </ul>

	<p>ように工夫され、ノートの例示など書き方の例が示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝統的な言語文化については、「声に出して読む・楽しむ」をキーワードに、情景を想像しながら児童が伝統を身近に感じられるようにしている。</li> <li>・ 学習用語や領域を各学年に掲載している。</li> <li>・ 学校と家庭をつなぐために、巻末に、この教科書でどのような力を習得させようとしているのかをまとめた保護者向けのページがある。</li> </ul> <p>「小学生の国語」(三省堂)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入門期の教材は、野原で春を見つけた子供たちが登校する様子が描かれ、展開を予想したり、想像したりしながら学習できるようにしている。</li> <li>・ 分冊『学びを広げる』において、知識や技能を高めたり広げたりできる内容を盛り込んでいる。</li> <li>・ 伝統的な言語文化については、音読・暗唱を中心とした教材と各領域と関連した教材を設けている。</li> <li>・ 学習のめあてと領域との関連を各学年で掲載している。</li> <li>・ 点画等を書き文字に近づけ学びやすく読みやすい活字を使用している。</li> <li>・ 基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るために、単元のはじめで、熟語、例文と共に新出漢字を扱っている。</li> </ul> <p>「ひろがる言葉」(教育出版)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元のはじめに、具体的な言語活動を示すことにより、見通しをもって学ぶことができるようにしている。単元のおわりに「振り返り」を設けている単元もある。</li> <li>・ 伝統的な言語文化については、「文化」の項目を設け、音読や創作活動を通して、日本語の響きと日本語の文化に親しむことができるようにしている。</li> <li>・ 領域との関連や、言葉の特徴やきまりを各学年に掲載している。</li> <li>・ 特別支援教育の観点からレイアウトや表現方法を工夫している。</li> <li>・ カラーユニバーサルデザインを採用し、より多くの人に興味を持って、かつ見やすいように配慮して作成している。</li> </ul> <p>「国語」(光村図書出版)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各領域の「自分の考えをもとう」「ふり返ろう」において、自分の考えを持ち、自分の言葉で学習を確認できるようにし、学ぶ意欲を高める工夫をしている。</li> <li>・ 単元の終わりに関連図書「この本、読もう」を示すとともに「本は友達」の単元では、自分と本との関わりを振り返らせ、継続的な読書活動を促している。</li> <li>・ 巻末に、補充作品として物語や説明文を掲載している。</li> <li>・ 分かち書きは、2年上巻途中までである。</li> <li>・ 基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るために、単元の始めに単元目標とともに具体的な着眼点等を提示し、つきたい力や言語活動を明示している。以上です。</li> </ul>
会長	質問はあるか。
委員 B	総括に、「カラーユニバーサルデザイン」や「ユニバーサルデザイン」と入っているが、説明を願う。
事務局	調査専門員の調査によると、どの教科書も児童にあったデザインがされている。ユニバーサルデザインとは障害のある子だけで

	<p>はなく、万人が使いやすいデザインのことである。基本的にこの観点で教科書は作成されている。ユニバーサルデザインとうたっていない発行者の教科書でも、ユニバーサルデザインについて配慮されている。</p>
委員 C	<p>「声に出して読もう」というものがあるが、他の教科書と比べて、この教科書発行者が特段に違うのか。</p>
事務局	<p>音読、特別交流を通して、柱立てや目次の中でうたっていることである。</p>
委員 A	<p>教育出版の「特別支援教育の観点からレイアウト、表現方法の工夫がある」とあるが、どういうことか。</p>
事務局	<p>教育出版については、カラーユニバーサルデザインを採用しており、障害のある子にも読みやすく、扱いやすくなっている。</p>
会長	<p>ありがとうございました。次に書写の報告を願います。</p>
事務局	<p>「新編 新しい書写」(東京書籍)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 姿勢や筆記具の持ち方について写真を用いて解説したり、低学年では「しょしゃたいそう」を掲載したりしている。</li> <li>・ 姿勢や用具の持ち方・扱い方が、写真・挿絵・言葉(足ぺた、びん、とん、さあ書こう)で明示され、低学年では実物大で手の位置が示されている。</li> <li>・ 毛筆の入門期では、点画の筆圧をリズムの中で感覚的にとらえられるように、「トン」「スー」「ピタッ」などの擬態語を用いている。</li> <li>・ 4段階の学習の手引きを設け、それに沿うことで、基礎・基本、応用、復習、整理の学習が進めやすいようになっている。資料性を高めるとともに書き込み欄を充実させるため、教科書のサイズがB5ワイド版となっている。</li> </ul> <p>「みんなと学ぶ 小学校書写」(学校図書)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毛筆と硬筆を関連させながら学習を進められるように、毛筆教材の学習後に関連する硬筆教材を「硬筆に生かそう」として設定している。</li> <li>・ 姿勢や用具の持ち方・扱い方が、いつでも見られるように各学年巻頭の折り込みページに写真と解説をつけて掲載されている。</li> <li>・ 学習者の立場に立ち、原寸大の手本、疑問や気付きについての表記、イラストを使っての鉛筆の動かし方の解説等を示している。また、毛筆の後に「硬筆に生かそう」を設定し、他教科との関連や実生活に生かされるような資料が充実している。</li> </ul> <p>「小学生の書写」(三省堂)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高学年では、目次にて学習過程を明確に示している。また、学んだことを生かして主体的に取り組めるように「ひろげよう」が設定されている。</li> <li>・ 書写で学習したことをふり返ることができるように「書写学習のヒント」として既習事項をまとめ、書写の大切さを押さえている。</li> <li>・ 筆圧の変化の違いを、硬筆では○の大きさ、毛筆では筆マークの表情で表わし、力の変化を視覚で捉えやすくしている。</li> <li>・ 「紙面全体の整い」を意識させるための課題を多く載せている。また、整っていない文字の問題点を考えさせる「考えよう」のコーナーを設けている。さらに毛筆では、穂先の向きや、特に腕の動きのポイントを図に示してあることで、姿勢や筆の動</li> </ul>

	<p>きが具体的に理解できる工夫がある。</p> <p>「小学 書写」(教育出版)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ なぞり書きにより明確な指示に基づいて主体的に学習できるよう工夫されている。4 学年以上には「課題選択教材」が設けられており、選択課題に沿って学習が進められるようになっている。</li> <li>・ 新出の「書写の学習用語」についてはコラムで解説し、さらに「学年のまとめ」で再度掲載することで確実な定着を図ることをねらっている。</li> <li>・ 点画のつながりや字配りが筆使いでわかるように、部分的に強調して取り上げている。カラーユニバーサルデザインに配慮されている。</li> <li>・ 基礎基本となる「書写用語」を繰り返し掲載し、話し合い活動で生かせるような配慮もされている。</li> </ul> <p>「書写」(光村図書出版)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉛筆での書き込み欄が随所に設定され、毛筆で学習したことを硬筆で生かせるようになっている。硬筆、毛筆、教科書体活字の整合性が図られている。</li> <li>・ 全学年の巻末に、日常生活に役立つ書式や漢字一覧表が収録されており、いつでも必要な時に活用することができるようになっている。</li> <li>・ 学習のポイントを示す「たいせつ」や理解を助け、課題解決のヒントを与えるキャラクターなど、紙面を構成する役割を明確にしている。</li> <li>・ ねらいに沿って書かれている文字はどれか、理由も合わせて考えさせるなど、言語活動の充実を図る内容が随所に盛り込まれている。また、高学年では、「学習の見通しをもとう」を巻頭に載せ一連の学習の流れを示すことで基礎・基本の定着が図られるようにしている。</li> </ul> <p>「小学書写」(日本文教出版)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毛筆では、点画の種類を理解を助け、基本的な技能を習得させるため、基本的な点画の種類と筆使いのまとめのページを設けている。</li> <li>・ 学習内容について興味・関心をもって取り組めるよう、単元のめあてを四コマ漫画にして目次に提示している。</li> <li>・ 本時の学習のめあてを常に確認しながら取り組めるように、関連ページの右下に、その単元のめあてを提示している。</li> <li>・ 筆運びや穂先の動きについて、特に気を付けさせたい基本の筆使いの写真を拡大して載せている。さらに、日本の伝統的な言葉を多く扱っている。</li> </ul>
会長	質問はあるか。
委員 C	学校図書には、中学校で習う行書について触れられているが、他の教科書は、どう扱われているか。
事務局	行書を扱っている教科書も扱っていない教科書もある。特に大きく扱われていたのが、学校図書の教科書だった。
委員 D	光村図書出版の教科書では、毛筆で学習したことを硬筆に生かせるようになっており、硬筆、毛筆、教科書体活字の整合性が図られているとあるが、他の発行者の教科書に同様の特徴はあるか。
事務局	ほとんどの教科書は硬筆で振り返りができるようになっている。光村図書出版の教科書は、硬筆、毛筆、教科書体活字の整合

	<p>性が非常にあっているという報告があった。</p>
委員 B	<p>左利きの児童に対する指導についての指摘はあったか。</p>
事務局	<p>検討されていない。</p>
委員 A	<p>手本の見やすさという観点で特徴はあるか。</p>
事務局	<p>国語の教科書と同じように、どの会社もユニバーサルデザインに意識して、色遣い、文字の大きさに配慮されていると報告があった。教科書の大きさについては各社で違いがあり、手本の大きさや構成に特徴がある。</p>
会長	<p>ありがとうございました。 次に社会の報告を願います。</p>
事務局	<p>「新編 新しい社会」（東京書籍）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ キーワードを「ことば」として側注で解説し、その索引を巻末に設け、振り返りや学習の整理に役立て、学習内容の定着が図れるようにしている。</li> <li>・ 高学年において、領土問題を明記している。</li> <li>・ 単元末で「ひろげる」や「ふかめる」コーナーを提示し、興味・関心を高め、「つかむ」段階での学習活動で問題意識を高めるようにしている。</li> <li>・ ワイド版を生かした様々な資料を学習過程に沿って提示し、見通しをもち、主体的な学習ができるように構成している。</li> <li>・ 単元ごとに学習の課題や視点が示されている。</li> <li>・ 各学年に応じた「学習の進め方」が掲載され、問題解決の流れに沿った各段階のポイントが明示され、児童が主体的に取り組めるよう配慮されている。</li> </ul> <p>「小学社会」（教育出版）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「やってみよう」コーナーに作業学習を入れ、資料の扱いや提示の仕方を工夫し、意欲を喚起・持続させ、主体的に学習できるようにしている。また、「もっと知りたい」コーナーを設置し、学習を深める工夫を図っている。</li> <li>・ 日本の伝統と文化、それらの継承に努める人々を多様な事例で紹介し、日本の伝統や文化に対する理解を深め、愛情や誇りの涵養を図っている。また、高学年において、領土問題を明記している。</li> <li>・ 資料の年次、出典を明らかにし資料記号が緑で示されている。</li> <li>・ 小単元ごとに、導入、ページ、まとめる、を同系色で統一し、番号も大きく表記されている。</li> <li>・ 「学びのてびき」を各学年の巻頭に掲載し、問題解決的な学びの進め方が示されている。作業的・体験的な学習活動を効果的に取り入れ、児童の意欲付けが図られている。</li> </ul> <p>「社会」（光村図書出版）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国土の自然環境や各地の優れた伝統と文化を各学年で取り上げるとともに、「今につながる」において現在に受け継がれている伝統や文化を紹介し、我が国の歴史や伝統を大切にしている。さらに高学年において、領土問題を明記している。</li> <li>・ 5・6年の教科書を一冊にし、学習内容の比較や関連を図りやすくなっている。</li> <li>・ キャラクターの吹き出しを使い、学習方法や学習活動に具体的な助言をしている。</li> <li>・ 各学年の巻頭に、発達段階に合わせた問題解決的な学習の手順や調べ方、まとめ方、伝え方などの例が示されている。また、導入部に大きな資料を提示し、児童の問題追究の意</li> </ul>

	<p>欲を喚起している。</p> <p>「小学社会」（日本文教出版）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今日的課題として、人権、福祉、環境、情報、国際理解、法ときまり、我が国の伝統と文化に対する理解や愛情を深められるようにしている。さらに高学年において、領土問題を明記している。</li> <li>・ 「学び方・調べ方コーナー」を設け、社会科における技能の習得を図っている。</li> <li>・ 「キーワード」では、欄外に新出の語句などの説明がある。</li> <li>・ 各学年に応じた「教科書の使い方」が掲載され、問題解決の流れに沿った各段階のポイントが明示され、児童が主体的に取り組めるよう配慮されている。「学び方・調べ方コーナー」などで、基礎・基本の定着にも配慮されている。</li> </ul> <p>続けて地図について報告いたします。</p> <p>「新編 新しい地図帳」（東京書籍）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 巻頭に地図指導の基礎基本となる「地図帳の使い方」ページを設け、地図記号、方位・縮尺、等高線、土地利用、索引について取り上げ、読図のポイントがそれぞれ掲載されている。</li> <li>・ A4ワイド版を生かした大きく広い範囲の地図で、誰にとっても見やすく、読み取りやすい地図になっている。</li> <li>・ 基本図の読み取り方、資料の見方・活用の仕方を示唆するコーナーや設問を設け、主体的に学習を促す工夫がされている。</li> <li>・ 地図の見方などの地図指導が巻頭の「地図帳の使い方」のページにまとめて提示され、段階的に地図指導ができるようになっている。また、社会科の学習内容に関連付けながら地図や資料を配列し、人物のキャラクターによる課題、一語話題などを盛り込んでいる。基本図に写真やイラスト、などの資料を配置し、多面的・多角的な見方ができるようにしている。</li> </ul> <p>「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」（帝国書院）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「地図帳の使い方」「日本の都道府県」では、地図や資料を使った考え方や地図にまとめる作業手順を示し、児童が考え、表現する方法を示している。</li> <li>・ 日本、世界とも基本図は、すべて同一縮尺・同一図法の位置図を示しており、各地図の範囲と位置が比較できるようになっている。</li> <li>・ 人物のキャラクターによる吹き出しにより、課題や参照ページ等を示している。</li> <li>・ 都道府県の区分や地図の約束、使い方が巻頭にあり、段階を追った調べ方を指導できるようになっている。後半に資料ページや外国を理解するコーナー、環境問題を考えるコーナーをまとめて設けてある。また、学習内容に即して欄外を有効に使い、課題、概念の説明、用語の解説を盛り込んでいる。さらに基本図に写真やイラスト、鳥瞰図などの資料を配置し多面的・多角的な見方ができるようにしている。</li> </ul> <p>以上です。</p>
会長	質問はあるか。
委員 D	学習の仕方、進め方について、どの発行者も教科書の中に提示されているということだが、発展的に扱えるよう意図しているものはあるか。
事務局	全てではないが、発展的なものを設けている発行者もある。
委員 C	地図帳のワイド版とはどういうことか。

事務局	東京書籍は、A4版の大きさとなっている。帝国書院は、縦がB5、横がA4のサイズで、社会科の教科書と同じサイズとなっている。
委員 B	東京書籍と帝国書院の見やすさについて、報告書では、微妙に表現がちがう。東京書籍は、誰にとっても見やすいという好意的な表現に思えるがいかがか。
事務局	どちらの地図も、カラーユニバーサルデザインに配慮している。詳細な違いについての意見はない。
会長	ありがとうございました。 次に算数の報告を願います。
事務局	<p>「新編 新しい算数」(東京書籍)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題解決において、テープ図、数直線等の図を用いて解決できるように、系統的に構成されている。図や式の解決の仕方を説明したり、話し合ったりする活動が取り入れられている。</li> <li>・ 図や表は色付けされ、書き込めるようになっている。</li> <li>・ 定義、公式、重要事項、計算の仕方等は囲みや色付けで強調されている。</li> <li>・ 問題解決の具体的な授業展開が例示されていたり、思考の手順や観点が示されていたり、児童が自分の言葉で説明する活動を促す等、問題解決的な学習を通して、数学的な思考力・表現力を高められるような配慮がされている。また、児童が目的意識をもって主体的に取り組めるよう、分からない学習内容について児童自身で学び直しができる構成になっている。</li> </ul> <p>「新版 たのしい算数」(大日本図書)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新しく学習する計算の仕方が図で考えられるようになっていたり、計算の手順が理解しやすく示されていたりしている。また、考えるときのヒントとなるように、既習の内容が吹き出し等で示されている。図形の書き方や用具の使い方は、絵や写真による分解図で丁寧に示されている。</li> <li>・ 巻頭に、教科書の使い方や表現力の育成をねらったノートの取り方が例示されている</li> <li>・ 単元全体の課題が示され、各時間の課題は番号が付けられ、囲みで強調されている。</li> <li>・ 問題解決的な学習が展開できるよう解決の仕方を複数提示したり、考えの手がかりとなる吹き出しを適宜設けたりして、主体的に学習を進められる構成になっている。</li> </ul> <p>「みんなと学ぶ 小学校 算数」(学校図書)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計算の仕方を、半具体物、図、式等を用いて説明する活動が取り入れられている。</li> <li>・ 巻頭に学習の進め方や、「算数でよく使う考え方」がまとめられている。</li> <li>・ 新しい用語や記号、単位は太字で書かれ、読み方や書き順が記されている。</li> <li>・ 巻頭に数学的な考え方を例示する等、系統的に学習を進めるための単元構成に工夫が見られる。中学校との円滑な接続が図れるよう「中学校へのかけ橋」(別冊)が設けられている。児童が興味・関心をもって主体的に学習が進められるよう、作業的・体験的な算数的活動を多く取り入れ明示した構成となっている。</li> </ul>



	<p>「小学算数」（教育出版）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「学びの手引き」には、算数で使いたい考え方や解決の仕方、ノートの手書き方、数直線の表し方等が示されており、問題解決を行う際の参考になっている。</li> <li>・ 資料は身近な内容に加え、社会や自然の事象を絵と写真で取り上げている。</li> <li>・ ヒントは吹き出しや囲み等で、学習の仕方は記号で表示されている。</li> <li>・ 学習した内容が実際にどんな場面で活用されているのかを示したコーナーを設け、学習内容の広がりが児童に実感できるような工夫がみられる。作業的・体験的な活動や考えたり説明したりする算数的活動を重視し、児童が主体的な問題解決を通して知識や技能を習得できるように構成されている。</li> </ul> <p>「わくわく 算数」（新興出版社啓林館）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2学年以上の巻頭には、「教科書の使い方」と「学習の進め方」、各単元内には学習の「めあて」と「まとめ」を明示し、見通しをもって学習が進められるように配慮されている。</li> <li>・ 全学年に算数的活動や資料のための折り込みページが設けられており、切り取り用教具にはミシン目が入っている。</li> <li>・ 単元全体の課題が示され、各時間の問題は番号が付けられ、囲みで強調されている。</li> <li>・ 数学的な見方や考え方を育成することに配慮し、児童が主体的に取り組むことができるよう、問題解決的な学習を中心に構成されている。ノートのつくり方、話し合いの仕方等が示され、児童が探求的に活動できるような構成になっている。</li> </ul> <p>「小学算数」（日本文教出版）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 巻頭に「さあ、算数の学習を始めよう」のページがあり、問題解決的な学習の進め方やノートの書き方、教科書の使い方、これまでに学習したこと等が示されている。</li> <li>・ 横長のA B判の側注を利用して、問題解決的な学習過程を具体的に示している。</li> <li>・ 定義、公式、重要事項、計算の基本形等は、囲みや色付けで強調されている。</li> <li>・ 児童自ら算数の学習の仕方を学び、主体的に問題解決的な学習が進められる構成になっている。作業的・体験的な活動や学習したことを実際の場面に生かせるような算数的活動の内容が具体的に示されている。既習の学習や次の学習のためのページがあり学習の系統性を重視している。以上です。</li> </ul>
会長	質問はあるか。
委員 C	学校図書の教科書は、中学校への接続に向け別冊が設けられているということだが、他の教科書には、中学校とのつながりについて意識してあるか。
事務局	中学校とのつながりが意識されているということが報告としてあった。中学校とのつながりについては、学校図書は別冊として設けられているが、それ以外の教科書についても様々な形で設けられている。6学年の巻末に取り扱われているものもある。また、ほとんどの教科書で、中学校の学習につながる単元では、単元ごとに中学校との系統性が明記されているとの報告があった。
委員 B	報告書に、「算数的活動」や「数学的思考」という言葉がある。「算数」というと小学校、「数学」というと中学校というイメージがあるが、どのような定義で使い分けているのか詳細な解説を願う。

事務局	<p>「算数的活動」と「数学的思考」の言葉の定義については、調査員の中で特に話題にあがっていないが、一般に、「算数的活動」とは、操作的な活動や図や絵、数直線等を用いて思考を行う活動を示す。「数学的思考」は、「数学」とあるが、算数・数学の中で育成する思考力・表現力については、学習指導要領に「数学的な思考力・判断力」とあるため、このように記述している。</p>
会長	<p>ありがとうございました。 次に理科の報告を願います。</p>
事務局	<p>「新編 新しい理科」(東京書籍)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観察・実験では、器具・材料の一覧と手順が写真や図を使って示されている。また、単元の最後に「たしかめよう」の問題があり、科学的な言葉の確認をしたり説明したりすることで、単元で得た知識の確認と振り返りができるような工夫が見られる。</li> <li>・ 学習効果・学習意欲を高めるためのカードや模型などの資料がある。</li> <li>・ 「問題」「観察・実験」「まとめ」の3項目は特に大きな文字で示されている。</li> <li>・ 目次が領域別に示されている。巻頭で問題解決の流れを示し、理科の学び方の流れを確認できるようにしている。また、安全に配慮が必要な箇所には赤で「きけん」のマークを配慮し、注意を促している。</li> </ul> <p>「新版 たのしい理科」(大日本図書)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元末の「確かめよう」では、学習したことが身に付いているかをキーワード等のヒントを使いながら児童自ら確認できるようになっている。また、主な器具の操作方法は巻頭にもくじが示され必要なときに見ることができる。</li> <li>・ 植物シートや動物シート(3年)、透明な星座シート(4年)などの資料がある。</li> <li>・ 問題文は記号と太字で記されている。</li> <li>・ 巻頭で学習の仕方を「理科の学び方」で示し、問題解決の流れを確認しながら学習を進めることができるようになっている。また、安全に配慮が必要な箇所には「注意」のマークを配置し、注意を促している。</li> <li>・</li> </ul> <p>「みんなと学ぶ 小学校理科」(学校図書)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観察・実験器具の使い方では、基本操作技能をステップごとに写真や図を用いて提示されている。また、単元末に「ふりかえってみよう」の問題が用意されており、「大事な言葉」として既習事項が確認できるようになっている。</li> <li>・ 各学年巻末に学習スキルをまとめた「考えよう調べよう」を載せている。</li> <li>・ 問題文は青色の文字で記され、青色の枠で囲んである。</li> <li>・ 巻頭で「科学の芽を育てよう」を提示し、学習の流れを意識させるとともに、前学年までに重点を置いてきた学習の仕方について振り返っている。また、安全に配慮が必要な箇所には「注意」のマークを配置し、注意を促している。</li> </ul> <p>「未来をひらく 小学校理科」(教育出版)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「〇年で学んだこと」や「学習のつながり」で系統的な学びを示し、児童が既習の知識や技能を用いて問題の解決を図れるようになっている。また、単元末の「確かめ」では、自ら既習事項を確認できるようになっている。</li> <li>・ 各学年の巻末に写真や図資料を中心とした「ミニずかん」が掲載されている。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動場面にはアニメキャラクターとマークを付けてねらいが示されている。</li> <li>各学年の巻頭に、児童自ら問題を解決していくための「学習の順序」と「〇年の学び方」が示され、学習の流れを意識させている。また、安全面では、「注意マーク」と「危険マーク」の2種類で注意を促し事故防止に配慮している。</li> </ul> <p>「わくわく理科」(新興出版社啓林館)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話合いを経て、まとめに繋がるように掲載されている。観察・実験では「用意する物」を明示し、手順を丁寧に示して見通しをもって活動できるよう工夫されている。</li> <li>各学年の巻末に学習内容に関連した書籍が紹介されている。</li> <li>「まとめよう」を手書きのタッチで扱い、児童が参考にしやすい。</li> <li>各学年の巻頭にある「学習の進め方」で、学習の流れを示し、学び方のイメージをしっかりと持てるようにしている。また、わくわく理科プラスで、言語活動を重視した記述を取り入れ、主体的な学習ができるよう配慮されている。以上です。</li> </ul>
会長	質問はあるか。
委員 D	「理科離れ」については、教科書の中に配慮しているような部分はあるか。
事務局	どの教科書も、巻頭や単元導入部分で貴重な写真や事例等を提示するなど、児童の関心を高め、「理科離れ」をなくすような配慮がされている。
委員 C	理科の学習においては、科学的思考力を育成するなどのねらいがあるが、記録の重要性もある。ノートの使い方や記録カードの記入等について、いくつかの教科書には例示があるが、報告書に特に記されていない教科書については、どのようになっているのか。
事務局	報告の観点の中に、記録についてのものがなかったのもので、統一して記されていないが、おおむねどの教科書もノートの記録の仕方について配慮がなされている。
委員 A	算数では、中学校への学習の架け橋として、別冊の資料があった。理科では、啓林館の教科書に別冊「わくわく理科プラス」がある。これは、発展的な学習や補充的な学習内容が掲載されているものと考えるが、他の教科書については、どのようになっているか。
事務局	表現方法の違いやページ構成の違いはあるが、どの教科書も学習指導要領に基づき、中学校の学習へ円滑につながるような配慮がなされている。また、学習内容を振り返る活動も充実している。
会長	ありがとうございました。 次に生活科の報告を願います。
事務局	<p>「新しい生活」(東京書籍)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全やマナーに関する習慣や技能の習得が図れるよう、様々なマークが配置されているとともに、災害に関する活動や資料が掲載されている。</li> <li>幼児教育との円滑な接続を図り安心して学校生活を送れるスタートカリキュラムが、特設ページ「すたあとぶっく」で紹介</li> </ul>

介されている。

- ・ 児童が、落ち着いて穏やかな気持ちで学習や教科書に向き合えるよう、強い色彩の使用を避け、紙面全体が、落ち着いた、淡い色調で統一されている。
- ・ 他教科との関連、幼児教育、社会科、理科、総合的な学習の時間との接続に対する配慮がなされている。さらに、単元の扉ページに「べんりてちょう」関連ページを示し、べんりてちょうが活用しやすいようになっている。

「新版 たのしいせいかつ 上なかよし 下はっけん」(大日本図書)

- ・ 「ビンゴカード」や「透明シート」等、児童が興味・関心をもち、児童が意欲的に作業をしながら学習するページが随所に配置されているとともに、多くの情報が掲載されており、主体的に活動する手がかかりとなっている。
- ・ 「透明シート」「ビンゴカード」「せいかつことば」は児童の興味・関心活動意欲を高めるように工夫されている。
- ・ ページごとに右上部の木の葉で具体的な活動課題が分かるように工夫されている。
- ・ 季節に沿った大単元の構成で、人、社会、自然を生かした一体的な流れの中で、「なかよし」から「はっけん」へと発展させている。

「しょうがっこう せいかつ」(学校図書)

- ・ 巻末に「きみならどうする」のページを設定し、思考・判断をする時のヒントを与えている。
- ・ 「ものしりノート」が単元ごとにあり、様々な遊びや飼育の仕方、観察カードや手紙の書き方等が紹介されている。
- ・ 絵や写真をふんだんに盛り込むことで視覚化を図り、生活科におけるユニバーサルデザインの考え方を取り入れている。
- ・ 「学び方図かん」「生きもの図かん」は、○をつけることで児童が自分自身で確かめながら活動を振り返ることができるようになっている。学習体験が広げられるように単元の中に「ものしりノート」があり、様々な遊び方や表現方法等が紹介されている。

「せいかつ」(教育出版)

- ・ 基本的な学習活動を掲載したり、自然に関することを「地球となかよし」マークで示したりしている。
- ・ 上下巻末に「ぐんぐんポケット」があり、学習や日常生活で必要なことがまとめられている。また、上巻の動くシートは児童に興味をもたせるように工夫されている。
- ・ キャラクターによって支援の言葉や、振り返りのヒントが投げかけられている。
- ・ モジュール授業の目安となる教科マークを示し、国語・音楽・図工は多くの活動で合科・関連が図れるように配慮されている。さらに、「地域となかよし」マークを配置し環境に配慮した活動にするよう投げかけている。

「せいかつ 上 みんなだいすき 下 みんなともだち」(光村図書)

- ・ 必然性のある場所で、双方向的な関わりが生まれる単元の流れや継続的に関わるための学習環境の工夫が例示されている。また、まとめの段階では、伝え合いの場が設定されており、児童自身が自分のよさや友達のよさについて考えるようにしている。
- ・ 単元の中で「どうすれば○○ができるかな」と投げかけ、ヒントを基に自分考えたり工夫したりするように導いている。
- ・ 活動段階や、活動のポイントに印がつけられ活動の流れがわかりやすく示めされている。
- ・ 児童の活動意欲に配慮した「ホップ・ステップ・ジャンプ」

	<p>の3段階の単元構成になっているとともに、季節ごとの動植物や四季の変化を表し、年間を通して自然に対する興味・関心をもたせている。</p> <p>「わくわくせいかつ いきいきせいかつ」（啓林館）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣を学ばせる欄を設け、健康で安全な生活を営むための基本的な知識等を紹介し、児童が自分自身で気を付けながら習得していくような配慮がされている。</li> <li>「たんけんブック」は別冊教科書になっているため、野外活動にも持参できるようになっている。生き物、遊び、安全について紹介している。</li> <li>3匹の親しみやすいキャラクターが登場し、活動や気付きを広げてポイントを吹き出しで表現している。</li> <li>4段階の単元構成（導入、主活動、交流活動、広げ深める、「わくわく」「いきいき」「つたえあおう」「ちやれんじ」）になっている。</li> </ul> <p>「わたしとせいかつ」（日本文教出版）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スタートカリキュラムのページを掲載し、学校生活に慣れるように工夫されている。また、ウェビング・KJ法などの発想法を紹介している。</li> <li>スタートカリキュラムのページとして「その1」から「その7」まで具体的に紹介されている</li> <li>折込ページを多用し、見聞きで流れが理解できるよう工夫されている。</li> <li>スタートカリキュラムが7項目掲載され、生活面や安全面等、入学当初の様々な教育活動に活用できるように配慮されている。また、巻末の「なんでもずかん」に、福祉、環境、食育、防災等の今日的課題に関する資料が掲載されている。以上です。</li> </ul>
会長	質問はあるか。
委員 B	生活は、小学校1、2年で使用される教科書であるが、現在、幼稚園や保育所から小学校への変化にうまく対応できない「小1プロブレム」という問題が学校現場に見られる。その対策として、スタートカリキュラムがあり、非常に大切であると考えます。スタートカリキュラムの扱いについて各教科書で差はあるか。
事務局	どの教科書においても、小学校生活に慣れるための配慮がされている。差については、報告されていない。
委員 C	観察をするうえでの注意として、虫や植物のことが示されている教科書がある。関東地方、埼玉県等の地域性に関連した教科書はあるのか。
事務局	どの教科書においても、注意すべき虫や植物について注意喚起がされているが、埼玉県に特記した表記はない。
会長	ありがとうございました。 次に音楽の報告を願います。
事務局	<p>「音楽のおくりもの」（教育出版）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎・基本となる学習内容が精選・焦点化され、段階的、効果的に学習できるような教材配列の工夫がされている。また、「学習のねらい」と「活動のポイント」として明示されている。</li> <li>児童が共通事項を手がかりとしながら楽曲の特徴やそのよさを感じ取ったり、教材の選択及び扱いが工夫されたりしてい</li> </ul>

	<p>る。また、題材内の教材が、関連的・対照的に配置してあり、表現活動と鑑賞活動を効果的に組み合わせることによって学習の深まりが図られている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イメージを喚起する写真やイラストの掲載、透明シート、両開きの折り込みページ等の設定により、想像豊かに学習できるように工夫されている。</li> <li>・ 共通教材は、「にっぽんのうた・みんなのうた」として位置付けられ、資料写真や説明で歌詞のよさがわかるように配慮されている。また、日本の音楽に関する題材が、どの学年にも設定され、わらべうた、民謡、お囃子等の音楽に親しむことができるようになってきている。4 学年以上の巻頭では、著名人のメッセージが掲載され、音楽の素晴らしさを伝え、音楽との関わりを深める工夫がされている。</li> <li>・ 音楽づくりでは、児童の思いや意図、創意工夫が生かせるように発達段階に応じた学習の手順、活動例、約束事、ヒント等が具体的に示されている。</li> <li>・ 総ページ数は発達段階に応じて少しずつ増えている。</li> </ul> <p>「小学生の音楽」（教育芸術社）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎的・基本的な事項を身に付けさせるために、発達段階に即した読譜やリズム表記、奏法等を示し、効果的に学習できるように工夫されている。</li> <li>・ 「共通事項」を核とした題材構成となっており、それぞれの学習が相互に関連・発展することができるようになってきている。</li> <li>・ 題材、学習内容、学習活動がひと目でわかる紙面の工夫がある。吹き出しや写真、イラストによって「共通事項」と関連させながら活動ができるヒントが示されている。</li> <li>・ 各学年に「歌いつごう日本の歌」として、童謡や唱歌等が精選されて取り上げられている。また、「こころのうた」として、説明文や情景写真が用意され、感受性を働かせて歌うことができるように配慮されている。「日本の音楽」として、我が国の文化を大切にすることを育む工夫がされている。中・高学年の巻頭には、「音楽プリズム」があり、音楽と生活のかかわりを深め、視野を広げる工夫がされている。</li> <li>・ 吹き出しの中等に共通事項を繰り返し表示している。「ふり返りのページ」で、その学年でおさえたい学習内容がまとめられている。音楽づくりでは、学習のねらいやつくり方の手順、活動例、約束事、ヒント等が具体的に示され、児童が見通しをもち、無理なく学習を進めることができる。</li> <li>・ 全学年の総ページ数が同じになっている。挿絵、写真、イラストの数は、発達段階に応じてページ数が設定されている。</li> </ul> <p>以上です。</p>
会長	質問はあるか。
委員 D	和楽器の扱いについて、どのように扱われているか。
事務局	どちらの教科書でも扱われている。同じくらいの量である。
委員 B	扱っている曲について、特別な違いはあるか。
事務局	教育芸術社の教科書については、「日本の音楽」というページが特設されていた。それ以外は、ほぼ同様の教材を扱っていた。
会長	ありがとうございました。 次に図画工作の報告を願います。

事務局	<p>「図画工作」(開隆堂出版)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「工具箱」「パレットコーナー」を設けることにより、造形活動の基礎的な技能を系統的に育成できるようにしている。</li> <li>・ 参考作品や写真などを用いて、多様な発想や表現の仕方が分かり、立体作品では他の方向から見ることで発想や思考を深めるように工夫している。</li> <li>・ 児童の作品を大きく掲載したり、児童が活動している写真を提示したりして、主体的な学習を促している。</li> <li>・ 児童の興味を引く題材名や参考作品からイメージを広げられるような工夫がされている。</li> <li>・ 学習の目標や振り返りがわかりやすく記され、自己の確認、相互理解等によって、言語活動の充実が図られている。</li> <li>・ 各題材に必要な技能・知識を囲みで示し、基礎・基本が確実に習得できるようにしている。</li> <li>・ 「ひらめきコーナー」では、学年の発達段階に応じて、楽しみながら短時間で表現活動ができるように工夫している。また、「みんなのギャラリー」や裏表紙には、地域に合った材料や場所、自然や伝統文化が取り上げられ、郷土愛を育むように工夫している。</li> </ul> <p>「図画工作」(日本文教出版)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「使ってみよう 材料と用具」で、材料や用具の基礎・基本の取り扱い方が詳しく書かれており、題材ごとに作り方や気を付けること、片付けについて見やすく表記している。</li> <li>・ 参考作品や写真を活用し、作者の思いや製作の過程が分かりやすく示されており、児童の発想や表現の工夫に活用できるようになっている。</li> <li>・ 各題材に「学習のめあて」を入れて学習の見通しをもたせて、児童の活動の写真を多く掲載し、活動のイメージをもちやすく工夫している。</li> <li>・ 材料や用具、場所や環境、友達との関わり、つぶやきの写真が掲載され児童の思いや発想が広がり、作り出すことの喜びが味わえるよう工夫している。</li> <li>・ 学習のめあてやキャラクターの言葉、児童のつぶやき等によって、色、形、イメージを意識させるような工夫がされている。さらに、児童の写真やつぶやきで相互評価の様子を示すことによって、言語活動の充実を図っている。</li> <li>・ キャラクターの語りかけによって発想を広げたり、鑑賞の視点を示したりする工夫がされている。</li> <li>・ 「使ってみよう材料と用具」で、材料や用具の扱いに関するページを6ページ設定し、写真や絵で分かりやすくていねいに示している。また、「ぞうけいのもり」では、学年に応じたテーマを楽しく鑑賞でき、裏表紙の「形や色を楽しもう」では、書き込んだり試したりするように工夫している。以上です。</li> </ul>
会長	質問はあるか。
委員 B	日本文教出版では、「きをつけよう」「かたづけ」というマークで安全や環境に配慮するよう工夫されているとあるが、開隆堂では、どのように示されているか。
事務局	表記の違いについて詳細に報告はされていないが、どちらの教科書にも、巻末に材料や道具の使い方に関する内容があり、その中で注意喚起がされている。
会長	ありがとうございました。 次に家庭科の報告を願います。

事務局	<p>「新編 新しい家庭」(東京書籍)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「いつも確かめよう」で、イラストや写真で手順や使い方等の知識や技能を確実に押さえることができるようになっていく。</li> <li>・ 「これだけはできるようになろう」では、身に付けなければならない基礎・基本が明確になっている。</li> <li>・ 「DO！」が設定されており、考える場面や話し合う場面がある。また、レポート例や製作計画・実習カード例があり、指導の参考となっている。</li> <li>・ どの題材にも学習のめあてが設定されており、3ステップで構成されている。また、キャラクターによる吹き出しが児童の意欲を高めるようになっている。</li> <li>・ 題材の最後は、今後の生活や家庭生活で生かしたり考えさせたりするよう結ばれている。また、「自由研究」として実践例を数多く掲載し、学校で学んだ内容を長期休業中に実践できるように構成している。</li> <li>・ 学年の最初には、自分の成長と家庭や家族の大切さに触れられるようになっている。また、最初のところで学習の見通しをもち、最後のところで成長の記録が振り返ることができるようになっている。</li> <li>・ 問題解決的な学習を繰り返すことで、基礎的・基本的な知識と技能が身に付けられるようになっている。また、自分の成長を実感し、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</li> </ul> <p>「わたしたちの家庭科」(開隆堂)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「できたかな」では、活動のあとに自己評価を行い、技能の定着を確認することができるようになっている。</li> <li>・ 「考えよう」「話し合おう」では、学習課題に対し、話し合ったり考えたりする場面を設けている。関連資料が豊富にあり、必要に応じて活用できるようになっている。さらに、観察や実習の際のレポート作成や考察・発表等の場面が、学習過程の各所に設定されている。</li> <li>・ 題材の最初に学習のめあてが示され、学習の流れをつかむことができるようになっている。また、キャラクターのアドバイスにより、学習の方向性が示されている。</li> <li>・ 学んだことを長期休業中に家庭で生かせるように、「チャレンジコーナー」に2つから4つの具体例が示されている。</li> <li>・ 「チャレンジコーナー」では、学んだことを生かして、家庭への実践につなげることができるようになっている。</li> <li>・ 問題解決的な学習を繰り返すことで、基礎的・基本的な知識と技能が身に付けられるようになっている。また、豊富な資料を活用して、家庭での実践につなげられるようになっている。</li> </ul> <p>以上です。</p>
会長	質問はあるか。
委員 B	<p>家庭科では、学習内容と日常生活でのギャップがあると思う。例えば、お茶を入れるとき、教材では、やかん等でお湯を沸かすことになっているが、実際の生活では、電気ポットでお湯を沸かすことが増えている。学習内容と日常生活との乖離については扱われているか。</p>
事務局	<p>学習内容と日常生活との乖離についての扱いはないが、教科書については、基礎・基本が大切であると捉えられており、学習内容が設定されている。</p>
委員 D	<p>例えば基礎という意味では、包丁を研ぐことについては、学習内容に入らないものか。</p>



事務局	包丁の扱い方については、どちらの教科書も基本的なことを詳細に記しているが、研ぐということについてはあがっていない。
事務局 C	東京書籍の報告書では、自由研究について、長期休業中に実践できるようにという表記があるが、「長期休業」というところの説明をもう少し詳しく伺いたい。
事務局	「長期休業」は、夏休みや冬休み等のまとまった休みのことである。東京書籍は「自由研究」、開隆堂は、「チャレンジコーナー」として、長期休業中に実践できるページが設定されている。
会長	ありがとうございました。 次に保健の報告を願います。
事務局	<p>「新編 新しい保健」（東京書籍）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎的・基本的な学習内容が本文で簡潔にまとめられており、各単元の最後に学習内容を整理するために「学習をふり返ろう」を設け、基礎的・基本的な知識を確実に習得できるようになっている。</li> <li>・ 授業の核となる部分に「活用して深めよう」を設け、習得した知識を活用して思考力を深められる構成になっている。また、「話し合ってみよう」において、話し合いを進めるための視点やそれに関する資料が示され、自分の考えを表現しやすい構成になっている。</li> <li>・ 「AED」「熱中症」「自然災害」「犯罪被害」など、今日的な話題に対応した資料を用意し、防災教育や安全教育に関する学習活動を充実させている。</li> <li>・ ユニバーサルデザインのフォント・カラーバリアフリーなどを使用し、マークを用いてレイアウトを工夫し児童が学習しやすくなっている。</li> <li>・ 基礎的・基本的な学習内容を実践的に理解できるよう紙面の構成が工夫されている。学習内容の詳しい説明や授業後に調べるとよい内容が紹介され、主体的に学習ができる。実生活に即した場面の検証や事例についての思考等の活動を通して、思考力・判断力・表現力の育成を図れる内容になっている。</li> </ul> <p>「新版 たのしい保健」（大日本図書）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小単元の終わりに、学習し理解したことを児童自らの生活の中で実践するために、「活用」欄を設け、表現力が身に付くような構成になっている。</li> <li>・ 各章の導入に、学習をナビゲートするクイズ等を提示し、児童が学習への興味・関心を高め、積極的に学習に取り組むことができる構成になっている。</li> <li>・ 写真やイラストを有効に活用することにより、学習意欲を喚起し、効率的に展開することができる資料になっている。</li> <li>・ 1単位時間の学習内容を見開き2ページにまとめ、「課題把握・発見」「思考・判断」「発表（表現）」「まとめ」「活用」の流れで構成している。</li> <li>・ 学習課題を通して、実践的に基礎的・基本的な学習内容を理解できる構成になっている。「話し合ってみよう」等の活動場面を設け、課題解決学習ができるよう工夫されている。</li> </ul> <p>「わたしたちの保健」（文教社）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「まとめ」は、簡潔にまとめた本文や専門的な立場のキャラクターの言葉で示し、基礎的・基本的な学習内容の理解と定着を図れるようになっている。</li> <li>・ 学習したことを手がかりにして、ブレインストーミングを活</li> </ul>

	<p>用し、いろいろな状況で、どのような対処が必要であるかを考えさせる構成になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題解決の手立てとして写真やイラスト、グラフなどの資料が掲載され、児童の学習意欲を喚起する資料になっている。</li> <li>・ 確実な習得を図るために、抑えたい内容を枠で囲んだり、重要な言葉は目に付きやすいように太字にしたりして、理解しやすいように工夫されている。</li> <li>・ 身近な生活行動、環境から学習課題を見つけ、実践的に、基礎的・基本的な知識を習得し、理解できる構成になっている。</li> </ul> <p>「新版 小学保健」(光文書院)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学んだことをもとに「あてはめよう(思考)」「見つけよう(判断)」「つたえよう(表現)」により、習得した知識を活用できる構成になっている。</li> <li>・ 児童や養護教諭・学校医のキャラクターなど、スムーズな学習ができるように、児童の目線からサポートしている。また、発展的な内容を多く取り入れ、児童の理解や学習意欲を高める工夫がされている。</li> <li>・ イラスト、図表、写真等、知識の習得を促進する資料を数多く掲載しており、児童の学習意欲を喚起し、視覚的に捉えやすくなっている。</li> <li>・ 様々なマークを用いたり、学習内容と即したイラストを用いたりすることで児童の理解や学習意欲を高める工夫がされている。</li> <li>・ 児童が理解しやすいイラストや図表、写真を多用した紙面構成となっている。習得すべき基礎的・基本的な学習内容を明確にし、これらを活用する思考力・判断力・表現力を育成することを意識した流れになっている。</li> </ul> <p>「新・みんなの保健」(学研教育みらい)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習課題を明示し、日々の生活や経験を振り返る活動等を通して、実践的に基礎的・基本的な内容を身に付けられるように工夫されている。</li> <li>・ 学習活動に話合いや記述、発表などの言語活動の場面が随所に設けられ、表現力を高めるような構成になっている。</li> <li>・ 「かがくの目」を始めとする資料、図解、解説により児童が興味・関心を持って学習に取り組めるようになっている。</li> <li>・ 1時間を見開き2ページで構成しており、「学習課題」「学習の進め方・活動」「活用」の流れで構成している。</li> <li>・ 自分の生活やまわりの環境の様々な健康課題に対応し、健康・安全についての基礎的・基本的な知識の実践的な理解とその活用ができるような構成になっている。資料をもとに話し合ったり、今後の生活に生かしたいことを考えたりする中で、思考力・判断力・表現力を育成できる内容になっている。以上です。</li> </ul>
会長	質問はあるか。
委員 B	自分が病気になったときに対応できるようにするための表記や内容等についてはどうか。
事務局	どの教科書も、病気への対応についての表記はある。
委員 C	教科書の大きさがB5やA4、ワイド版等、各社で特徴あるつくりとなっている。見やすさや資料の掲載の仕方等、教科書の大きさについて、話合いがされたか。
事務局	大きさについての報告はない。

<p>会長</p>	<p>それでは、ここで10分間の休憩をとる。 開始は15：15。よろしくお願いします。</p> <p>(休憩10分間)</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、時間になったので、研究結果報告を開始する。</p> <p>次は、平成31年度使用中学校「特別の教科 道徳」についての報告となる。よろしく願う。</p>
<p>事務局</p>	<p>「新しい道徳」(東京書籍)</p> <p><b>道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫では、</b> 各教材の冒頭に置かれた授業のテーマとなるねらいを活用し、学級全体でねらいを共有することで、テーマに沿って考えを深めることができる。テーマに対応した設問を教材の末尾の「考えてみよう！」に置くことで、1つのテーマで教材を一貫して扱えるようにしている。</p> <p><b>人間としての生き方への考えを深めさせる工夫では、</b> 巻頭にオリエンテーションがあり、教材ごとに「つぶやき」コーナーがある。また、巻末に切り取り式の自己評価用紙があり、見通しと振り返りを設定し、生徒が主体的に取り組めるようにしている。</p> <p><b>道徳性を育成するための工夫では、</b> グループエンカウンターを設定したり、教材末の「考えてみよう」の問いにより、道徳的価値を実践的なものにすることができたり、巻末の「自分の学びを振り返ろう」により、自身の変容を感じることができたりすることができる。</p> <p><b>現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫では、</b> 各学年に2つの直接的な教材と1つの活動を組み合わせて3時間扱いとしたユニット「いじめのない世界へ」を設定している。 また、環境問題や情報モラル、生命倫理、持続可能な社会の形成などを扱っている。</p> <p><b>発達段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための効果的な工夫では、</b> 1年は郷土の学習、2年は国の学習、3年は国際理解の学習をそれぞれ重点項目にし、段階を経て考える範囲が広がるようにしている。</p> <p><b>「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫では、</b> 各学年巻末に、切り取り式ホワイトボード用紙・心情円があり、グループ活動などで活用することができる。</p> <p><b>資料の特色については、</b> 最近話題となったスポーツ選手の経験談や、漫画、新聞、震災を扱った教材がある。</p> <p><b>表記・表現の特色では、</b> 特別支援教育の観点から書体にはUD(ユニバーサルデザイン)書体を使用し、一般の書体よりやや太めの文字を使用している。</p> <p><b>最後に</b> 教材ごとの学習の流れは、考え、議論する学習が展開できるよう構成するとともに、漫画を利用した導入や役割演技など、さまざまな学習方法を提示している。教材ごとに問題解決的な学習の流れを提示し、考え、議論する学習を意識して作成されている。</p>

「輝け 未来 中学校道徳」(学校図書)

**道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫では、**

目次ページの下部に道徳学習の流れを示し、学習の進め方や、態度等の留意点について、学習の展開に沿って解説している。

**人間としての生き方への考えを深めさせる工夫では、**

課題を発見し、主体的な学びを行うために、基本・中心・後段の発問を提示し、見方を広げたり考えを深めたりすることで、大事なことを自分自身のこととして見つめられるようにしている。

**道徳性を育成するための工夫では、**

22の内容項目に対応する「心の扉」を設定し、生徒が道徳的価値について、自分のこととして捉えることができるよう、身近なことを問いにした書き込みスペースを設けている。

**現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫では、**

各学年ともに、「公正、公平、社会正義」の項目でいじめにつながる問題に正対して考えるように配慮している。また、生徒の学校生活の中で陥りやすい場面を取り上げ、生徒の日常の在り方について考える教材を扱っている。

情報モラルの問題、安全の確保については各学年で偏りなく扱っている。

**発達段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための効果的な工夫では、**

社会参画、公共の精神では、1年では学校で取り組む身近なボランティア、2年では地域社会を支えるボランティア、3年ではより広い社会・世界でのボランティア活動と、学年を追って深まる学びを配列している。

**「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫では、**

発問には、「考えよう」「意見交換」「見つめよう」と示したマークを置いて活動が端的にわかるようにしている。

**資料の特色については、**

各学年とも巻末には、「保護者の方へ」のページを設け、学年の学習内容を解説しているページがある。

**表記・表現の特色では、**

4つの視点アイコンを4種のテーマカラー表示している。発問からだけでなく、現代的な課題などを網羅する10種のポイントマークを使用している。

**最後に**

大切にしたい4つのつながりとして、「命」「人・社会」「自然」「世界・文化」を念頭に、学期毎に必ず4つの視点の学習を行うよう、教材配列をしている。また、学校生活の全ての場面に生きる基盤形成のために、良好な学習集団の構築を狙ったグループワーク、「学級づくり」を各学年冒頭に設置している。

「中学道徳 とびだそう未来へ」(教育出版)

**道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫では、**

教材の冒頭には「導入」の文章を設け、学習のねらいを明確にして教材内容に入ることができる。教材の末尾に「学びの道しるべ」を設け、物事を自分に引きつけて考えさせたり、多面的・多角的に考える際の助けとなる発問を示し、対話的な学びを深めさせたりすることで、道徳的価値の理解を深め、考えや心の変容が実感できるようになっている。

**人間としての生き方への考えを深めさせる工夫では、**

巻頭にオリエンテーションがあり、現在の自分自身を見つめ、道徳の学習を通して考え、深めていきたいことをつかめるようにしている。

**道徳性を育成するための工夫では、**

巻末にふり返りのページがあり学期ごとに振り返り、学びを積み重ねることで、自分の変容を確かめ、次の学年へとつなげることができる。

**現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫では、**

「生命の尊さを考える」「いじめや差別のない社会に」「情報とよりよくつき合う」を重点テーマとしている。

いじめ問題について各学年とも直接的な教材、間接的な教材を取り入れ、スパイラルに学習することで、問題の本質に迫っている。

**発達段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための効果的な工夫では、**

1年では身近な生活場面での出来事を題材にした教材、2年では実話をもとにした教材、3年では良心の尊さについて考えを深め、自らの生き方に生かしていくことができる教材を取り入れている。

**「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫では、**

登場人物が判断を迫られる場面が中心となる教材や、異なる立場からの考えや意見を取り上げた教材、社会全体の変化や動向を素材とした教材を取り上げている。生徒自身の考えやその根拠を問い、どうあることがよいのかについて、多面的・多角的に考えを深めることができる。

**資料の特色については、**

比較的短い教材が多く、ページをまたぐ大きな写真やグラフを通して考えを深める教材を扱っている。

**表記・表現の特色では、**

1年の前半部（1～10）の教材本文は、他の教材より大きい文字を使用し、小学校から中学校への移行がスムーズになるようにしている。

**最後に**

生徒の生活実態を描いた共感的に読める教材、切実感をもって考えられる教材が多く、日常の生活での道徳的行為や習慣に結びつけられるようにしている。同世代の主人公の気持ちや行動を通して、自分のこととして考えることで、変化や成長を実感したり、課題や目標を見つけられるようになっている。

「きみが いちばん ひかるとき」（光村）

**道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫では、**

教材の冒頭に主題名を置き、ねらいとする道徳的価値を生徒が意識して取り組めるよう構成されている。教材の末尾に、学びのテーマ、考える観点、自身へのふり返りにつながる活動例が示されている。

**人間としての生き方への考えを深めさせる工夫では、**

巻頭に、道徳の時間の初めにあたっての詩及びオリエンテーションのページがあり、生徒が主体的に学習に取り組めるようにしている。

**道徳性を育成するための工夫では、**

巻末に「学びの記録」を設け、教材ごとに記録した「私の気づき」を基にしながらふり返り、自身の変容を実感できるようにしている。

**現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫では、**

「情報モラル」「関係づくり」「共生」「いじめ」「環境」「社会参画」「国際理解」に重点を置き、教材とコラムを組み合わせた「ユニット」を設定し、深化を図っている。

**発達段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための効果的な工夫では、**

1年間を4シーズン「自ら考えて」「仲間とよりよい生活を送るために」「広い視野で」「共に学び合いながら」と設定し、学校生活の実態とそれに伴う生徒の成長を考慮して教材を配列している。

**「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫では、**

「学びの広場」を付録として設け、小学校での教材を補充教材として扱い、中学生の視点で考え直すことで深い学びにつながるようになっている。

**資料の特色については、**

全学年の付録に各分野で活躍している人物からの、生徒に向けたメッセージを掲載し、生徒の学習意欲を喚起している。

**表記・表現の特色では、**

教材ごとに学習指導要領の4つの視点を印で示している。索引はテーマによって分類している。

**最後に**

主体的・対話的で深い学びの展開を重視している。教材ごとに「てびき」が用意され、生徒が教材を通して何を学ぶのかを「学びのテーマ」で示し、テーマに迫るための発問が設けられることで、生徒が「考え、議論する授業」が展開できるようにしている。

「中学道徳 あすを生きる」(日文)

**道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫では、**

教材の冒頭に主題名を置き、ねらいとする道徳的価値を生徒が意識して取り組めるよう構成されている。教材の末尾に、考えを深めさせる発問及び自身への振り返りにつながる発問が示されている。

**人間としての生き方への考えを深めさせる工夫では、**

巻頭に、道徳の時間の初めにあたっての詩及びオリエンテーションのページがあり、道徳を学ぶ意義について示している。別冊道徳ノートに自分について記述するページを設け、自己を見つめられるようになっている。

**道徳性を育成するための工夫では、**

道徳ノートの「自身にプラスワン」及び毎時間の振り返りを記す欄を通して自身の変化や成長を確かめられるようになっている。

**現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫では、**

「いじめ」「安全」「情報」「環境」「伝統・文化、国際理解」の五点に重点を置き、複数の教材とコラムを組み合わせることでユニット化し、内容を集中的に扱い、定着を図れるようになっている。

**発達段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための効果的な工夫では、**

1学年「である」2学年「みつめる」3学年「ひらく」と大テーマを設定し、自己理解、社会参画意識、国際社会への意識と、発達段階に配慮して教材を選定し、学びの質を向上させている。

**「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫では、**

教材の末尾に「考えてみよう」を配してねらいに迫るための発問を提示し、自分の考えを広げたり道徳的価値の理解を深めたりできるようにしている。

**資料の特色については、**

絵や写真が1ページに1つ以上配置され、視覚に訴える構成となっている。

**表記・表現の特色では、**

中学校で学習する漢字に振り仮名が付けられている。情報等は脚注で解説している。

#### **最後に**

巻頭や「道德ノート」で道德科の学習のねらいや学び方を発信したり保護者記入欄を設けたりして、学校、家庭、地域の連携を図っている。「学習の進め方」の項と道德ノートを併用することで、対話的な学びをサポートし、生徒が主体的に「考え、議論する道德」を実現できるようにしている。

「中学生の道德 明日への扉」(学研)

#### **道德的諸価値についての理解を深めさせる工夫では、**

生徒が自ら主体的に課題を発見し、解決する資質や能力を培えるよう、主題名をあえて教材中に記載せず、生徒の問題意識を大切にしている。また、問題解決的な学習の道筋を「深めよう」に提示している。

#### **人間としての生き方への考えを深めさせる工夫では、**

巻頭に道德の授業の学び方を紹介するページと詩があり、合わせて次ページに自分のことを記述させることで問題意識を持って取り組み、自己を見つめられるようにしている。

#### **道德性を育成するための工夫では、**

巻頭に自分を見つめるページ、巻末に1年間の学びをふり返るページがあり、1冊全体で1年間の自分の変容を感じられる構成になっている。

#### **現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫では、**

「生命尊重」と「いじめ防止」を重点テーマとしている。特設ページ「クローズアップ プラス」で、3テーマ(メンタルトレーニング・アンガーマネジメント・自己肯定感)を取り上げ、「生命尊重」「いじめ防止」につなげている。

#### **発達段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための効果的な工夫では、**

巻頭に自分を見つめるページ、巻末に学びをふり返るページがあり、1年間の自分の変容を感じ、これからの生き方を考えることができる、主体性や自尊感情を高める構成となっている。

#### **「考え、議論する道德」を通して道德性を育成する効果的な工夫では、**

「地球と地域の未来のために」「スポーツの世界で共に輝く」という観点でそれぞれ複数教材を関連させるなど多様な展開で学びを深められるようにしている。

#### **資料の特色については、**

教材で学習したことを基に、考えを深め、広げるための学び方のページがある。スポーツに関する教材、オリンピック・パラリンピックに関する題材を多く取り上げている。

#### **表記・表現の特色では、**

書体には UD(ユニバーサルデザイン) フォントを使用している。

#### **最後に**

自分らしい豊かな生き方を切り開くことのできる「プラス思考」と「未来志向」を備えた生徒の育成を目指している。生徒が自ら主体的に課題を発見し、解決する資質や能力を培うことを重視しており、特定の価値観を押し付けることなく、生徒の問題意識を大切にした構成・展開にしている。

「中学生の道德 自分を見つめる1 自分を考える2 自分をのぼす3」(廣あかつき)

#### **道德的諸価値についての理解を深めさせる工夫では、**

教材、道德ノートの2分冊構成となっている。各教材に学習の手がかりとなる「考える・話し合う」を配置し、生徒の主体的

な思考、対話的な活動を促している。道徳ノートは内容項目別に構成され学習内容を明確にしている。

**人間としての生き方への考えを深めさせる工夫では、**

巻頭に道徳の授業の学び方を紹介するページと詩があり、生徒が問題意識をもって取り組めるように示している。別冊ノートには、巻頭に自分のことを記述して自己を見つめ、生き方について考えをより深めるようにしている。

**道徳性を育成するための工夫では、**

道徳ノートは価値ごとに構成されており、授業を通して感じたことや考えたことを記述したり、記述したことを繰り返しふり返ったりすることで、生徒が自分の変容や考えの深まりに気付くようにしている。

**現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫では、**

「自主、自律、自由と責任」「生命の尊さ」「思いやり、感謝」「よりよく生きる喜び」を重点とし、最大時間数年間3時間を配当している。とくに「生命尊重」に重点を置いている。

**発達段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための効果的な工夫では、**

「生命の尊さ」を重点項目とし、同年代の少年の話や、家族、生命倫理などを取り上げている。

**「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫では、**

教材ごとに「考える・話し合う」を配置し、生徒が主体的に思考を深めたり、積極的に話し合いを進めたりできるようにしている。

**資料の特色については、**

道徳ノートには生徒の学習意欲を喚起する写真や、物事を広い視野から多面的・多角的に捉えるための図やグラフ、先人の逸話や言葉を掲載している。

**表記・表現の特色では、**

学習指導要領の4つの視点で教材を色分けしている。

**最後に**

教材・道徳ノート2分冊構成となっている。教材ごとに「考える・話し合う」を設置し、学習の手がかりを示したり、考えを広げたり深めたりできるようにしている。さらに、道徳ノートの「心のしおり」では自己評価をし振り返りができるようにしている。教師の柔軟な授業づくりに対応している。

「道徳 中学校」（日本教科書）

**道徳的諸価値についての理解を深めさせる工夫では、**

各教材に「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」に発問が書かれ、生徒の学習の道筋が提示されている。

**人間としての生き方への考えを深めさせる工夫では、**

巻頭に詩を用意しており、改めて自分を深く見つめるきっかけとしたり、学びの集大成としての人の姿を感じさせたりする工夫をしている。

**道徳性を育成するための工夫では、**

巻末に1年間の学びをふり返るページが用意されており、1年間の自分の変容を感じられるようになっている。

**現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫では、**

1年では情報モラルについて話し合う教材、2年では地域社会の衰退やホームレス問題、3年では社会参画について話し合う教材が用意されている。

**発達段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための効果的な工夫では、**

「リョウとマキ」という3年間ストーリーの連続性を持たせて



	<p>いる教材がある。主人公と自分自身を重ね合わせ、主人公が直面する悩みを共有し、道徳的問題として考えさせる工夫としている。</p> <p><b>「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫では、</b></p> <p>答えが1つではない道徳的な課題を、1人1人の生徒が自分自身の問題ととらえ、考え、議論できるように工夫されている。</p> <p><b>資料の特色については、</b></p> <p>視点ごとに3, 4つ程度「もっと知りたい」や「話してみよう」「書いてみよう」などのページが設けられ、考えを深める工夫がされている。</p> <p><b>表記・表現の特色では、</b></p> <p>学習指導要領の4つの視点ごとに教材がまとまっている。</p> <p><b>最後に</b></p> <p>未来社会に生きる生徒に生き方は自由であるということを知らせるために、発達段階に合わせた教材を集めている。「考え、話し合ってみようそして、深めよう」で生徒の学習の道筋を提示し、理解を深めさせる工夫がされている。以上です。</p>
会長	質問はあるか。
委員 B	切り取り式ホワイトボード用紙・心情円があり、グループ活動などで活用することができるとの報告があったがどこにあるか。
事務局	1年生の教科書の巻末をご覧ください。教具として、ホワイトボードや心情円が各学年で使用できるようになっています。
委員 C	教育出版でのいじめ問題について学習し問題の本質にせまっているところの教材は、どのページか。
事務局	例えば1年生の教科書P38をご覧ください。「いじり」と「いじめ」という言葉の意味を考えさせるところから問題の本質にせまっていることが分かります。
委員 D	光村において、「学びの記録」を設け、教材ごとに記録した「私の気づき」を基にしながら振り返り、自身の変容を実感できるようにしている。ということが分かるところはどこか。
事務局	例えば、1年生教科書の巻末をご覧ください。学びの記録として、様々な観点で記入することができるようになっております。
委員 A	日文のねらいとする道徳的価値を生徒が意識して取り組めるように構成されていることが分かるところはどこか。
事務局	例えば、1年生のP6をご覧ください。教材名の上に「困難を乗り越える力」とあります。ねらいとする道徳的価値を意識できることが分かるところでございます。
委員 B	廣あかつきで、生徒の主体的な思考、対話的な活動を促していることが分かるところはどこか。
事務局	1年生の教科書P5をご覧ください。「学習の手がかり」や「考えを広げる・深める」において、主体的に考えていく活動について促しています。また、「中学生の道徳ノート」のP2においてもそのことが分かります。
委員 C	日本教科書の「もっと知りたい」「話してみよう」「書いてみよう」などのページはどこか。

事務局	1年生のP84をご覧ください。「書いてみよう」として私のいいところや自分を見つめてみようなどの視点で考えを記入することができるようになっております。
会長	ありがとうございました。
会長	皆様の御協力によりまして、全ての教科書の報告が円滑に終了することができた。ありがとうございました。これで議長の任を解かさせていただきます。
事務局	事務連絡を事務局より申し上げる。 「第3回選定委員会は、7月19日に行田市産業文化会館2A会議室にて行う。よろしく願います。連絡事項は以上である。」
司会	大変お疲れ様でした。以上をもち、第2回第18採択地区教科用図書選定委員会を終了させていただきます。